

学校関係者評価をしました

2月22日(木)に今年度最後となる第7回学校運営協議会が開かれました。



学校関係者評価と今年度の学校運営協議会の取組について話し合いました。学校関係者評価とは、協議会委員が学校の自己評価の結果を評価したもので、井田川小学校では授業改善や学校行事、仲間作り、労働安全衛生体制の整備などの項目があります。

委員による評価と協議会で話し合われたことの一部をご紹介します。

委員による評価

- ・児童が自分で“主体的・対話的”に学びに向かっていると意識できる取組に期待したい。
- ・チャレンジワークシートは、自主的・意欲的に取り組めるように枚数などの検討が必要と思う。
- ・タブレット端末の活用とノートを使用した学習をバランスよく行えるとよいと思う。
- ・運動会については今後もいろいろな意見を聞いた上で実施の仕方を決め、教育活動としての目的を重視し、開催して欲しい。
- ・児童の居場所作りについては、学校、家庭、地域、関係機関と連携して取り組むことが重要だ。
- ・定時退校日の設定や電話対応を減らすなど、先生方の負担軽減へ向けた取組を今後も進めて欲しい。

学校より

「いただいた評価は職員と共有し次年度に活かすための材料とさせていただきます。家庭学習でのタブレット端末の使用とチャレンジワークシートの取り組み方については改めて検討し、児童が主体的に活動に取り組めるようにすること、アンケート調査で否定的な回答をした児童への支援については、今後も課題として持ち続けていきたいと思えます。学校内外の児童の居場所作りについても引き続き力を注いでいきます。」

今年度の学校運営協議会の活動を振り返って・・・ ～委員より一年間を通しての感想など～

- ・いろいろな立場の方のお考えを聞くことができ有意義だった。いろいろな人のまなざしで学校をみていくことが子どもの育ちや教育につながっていくのだと思う。
- ・これからも課題の解決に向けて皆で力を合わせていけたらよいと思う。
- ・委員も学校行事に直接的に協力・参画できればよいと思う。
- ・まちづくり協議会のイベントに子ども対象のものも増やしていきたいのでご協力をお願いします。

来年度へ向けて・・・

打田会長より「来年度は今年度プラス1になるように、一歩ずつ進歩していけたらよいと思う。」という力強いお言葉がありました。

右の写真は、栽培委員会の子どもたちが世話をしている花壇の花です。花ボランティアさんも毎日のように草取りや枯れた葉を取り除くなどの手入れをしてくださっています。小さなつぼみが大きく開き、彩り豊かになるのが楽しみです。



出前授業をしました『 4年生 キャリア教育』

2月21日(水)と2月29日(木)に、この地域でお仕事をされている方をゲストティーチャーとしてお招きし、仕事内容や資格取得の方法についてのお話や実演などをしていただきました。どの授業でも子どもたちは真剣なまなざしでお話に聞き入っていました。

ゲストティーチャー

美容師『SHOWYA』の松谷さん

美容師になるためにはどのような進路を歩む必要があるかということや、写真を提示しながら仕事内容について教えてくださいました。流行りのヘアセットを児童をモデルにして行う実演もあり、子どもたちも興味津々に見入っていました。



ゲストティーチャー

寿司職人『鮨いの上』の井上さん

お寿司を握る実演にたくさん時間をとってくださり、目の前で太巻きや握り寿司、軍艦巻きを作ってくださいました。鮮やかな手の動き、包丁さばきを見て、子どもたちも驚いている様子でした。盛り付けが完了すると歓声と拍手が起こりました。



ゲストティーチャー

警察官 川崎駐在所の笹ノ内さん

警察官になるためには小学生の今はどんなことが大切か、ご自身が携わった事件のことなどについてもお話してくださいました。あと1年で定年退職される笹ノ内さん「楽しい警察官人生だった。毎日幸せです。」という言葉が印象的でした。



ゲストティーチャー

幼稚園教諭 井田川幼稚園 クラス担任の西川さん、服部さん、大川さん

『エビカニクス』を賑やかにみんなで踊ることから授業がスタートしました。その後、お一人ずつ幼稚園の先生になった理由やどのような勉強をして資格取得に至ったかということを経験されたことを交えながら丁寧にお話してくださいました。



『井田っ子スマイル教室』の スタッフ交流会が行われました

3月8日(金)に、放課後子ども教室『井田っ子スマイル教室』のスタッフ35名ほど(講師の先生や見守りスタッフ)と中村教頭先生、井田っ子スマイル教室コーディネーターが出席し、交流会が行われました。スタッフは地域の方や保護者が担っており、今年度活動に携わった方は総勢64名になります。

交流会では「子どもたちから元気をもらっている」「異年齢ならではのやり取りが見られる」「子どもたちが地域のいろいろな大人に関われることはよいことだと思う」といった声が聞かれました。また、皆さんのお話から、子どもたちのことを温かく優しい気持ちで応援してくださっていることが伝わってきました。講師の先生方も願いや熱意を持って子どもたちと関わってくださっていることがわかりました。

放課後子ども教室は子どもの居場所の1つでもあります。これからも、子どもたちが安全で楽しく参加できる教室として活動が継続していけるように、皆さんとの連携を大切にしていきたいと思います。



最後に・・・

今年度はコロナ禍を脱し、学校の教育活動もより活発に行われました。この流れを汲んで来年度も学校、家庭、地域の連携を一層深め、みんなで子どもたちの育ちを支えていければよいと思います。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度も学校運営協議会の取組に際しご理解、ご協力を賜りましてありがとうございました。

